

Cisco IP Manager Assistant - IPMA

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[定義](#)

[表記法](#)

[動作理論](#)

[Cisco Tomcat サービス](#)

[設定](#)

[サイレント \(DND\)](#)

[コールの状態](#)

[ソフトキーのイベント ID](#)

[トラブルシューティング](#)

[フィルタリング ダウン エラー メッセージ](#)

[「SYSTEM ERROR PLEASE CONTACT ADMINISTRATOR」エラー メッセージを受信する](#)

[HTTP 503 エラーで IPMA サービスに接続できない](#)

[解決策](#)

[IPMA アシスタントがボイスメールにアクセスできない](#)

[IP 電話のトラブルシューティング ツール](#)

[トレース ファイル](#)

[関連する Cisco Bug ID](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco IP Manager Assistant (IPMA) 機能を使用すると、マネージャやアシスタントが効率よく共同作業を行えるようになります。この機能は、マネージャの電話機能を拡張するコールルーティングサービス、およびマネージャとアシスタントの両方のデスクトップ インターフェイスで構成されています。このサービスは、マネージャ宛のコールを代行受信し、事前に定義されているコールフィルタに基づいて、このコールを選択されているアシスタント、マネージャ、または他の宛先にルーティングします。マネージャはこのコールルーティングを動的に変更できます。たとえば、電話機のソフトキーを押すことによって、マネージャはこのサービスに対してすべてのコールをアシスタントにルーティングするよう指定したり、これらのコールのステータスを受信したりすることができます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco CallManager の管理

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager バージョン 3.3(2)
- Cisco IP Manager Assistant サービス

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

定義

このドキュメントでは、次の定義を使用しています。

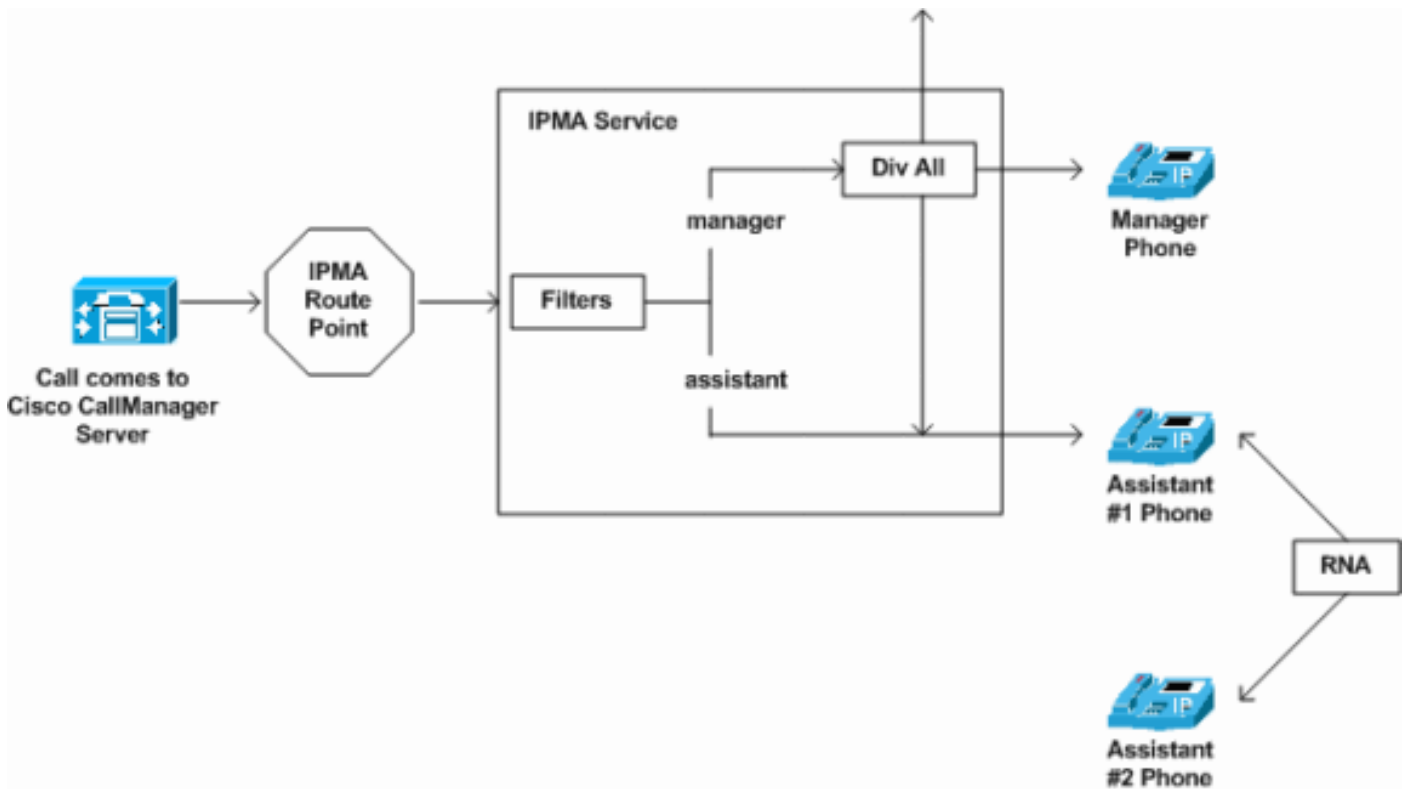
用語	定義
マネージャ	マネージャとは、そのユーザ宛の着信コールがルーティング サービスによって代行受信され、ルーティングされるユーザのことです。
アシスタント	アシスタントは、マネージャに代わってそのコールに対応するユーザです。
プロキシ回線	プロキシ回線は、アシスタントの Cisco IP Phone に表示される電話回線を指定するものです。アシスタントと関連付けられるマネージャごとに、プロキシ回線を 1 本設定する必要があります。 Cisco IPMA では、プロキシ回線を使用してマネージャ宛のコールを管理します。呼ルーティングソフトウェアによって、マネージャがコールを受けることができないためコールをアシスタントに送る必要があると判断される場合、そのコールはアシスタントの Cisco IP Phone でそのマネージャ用に設定されているプロキシ回線にルーティングされます。
インターコム回線	マネージャおよびアシスタントの電話で設定されている回線で、マネージャとそのアシスタントの間で直接通信が行えるようにするものです。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

動作理論

Cisco IPMA のルート ポイントは Directory Number (DN; ディレクトリ番号) に割り当てられ、これはその後すべての Cisco IPMA マネージャの DN に一致するように変換されます。このサービスによって、マネージャの DN に対するコールが代行受信され、マネージャまたはアシスタントによって設定されているフィルタを適用した後、適切な宛先にコールがルーティングされます。



Cisco Tomcat サービス

Cisco Tomcat サービスでは、Cisco IPMA サービスをロードします。Cisco Tomcat は、Cisco CallManager のインストール時にロードされます。Cisco IPMA サービスでは、次の処理を実行します。

- アシスタントおよびマネージャの電話で実行される HTTP サービスをホストします。
- マネージャとアシスタントがコールを制御するために使用する Web ページと、設定ページをホストします。
- マネージャ宛の着信コールに対するフィルタを適用するルーティング ロジックが含まれます。
- Cisco CallManager のクラスタに Cisco CTIManager を経由して接続し、サードパーティのコール制御を行います。Cisco CallManager に必要な Computer Telephony Integration (CTI) 接続は、クラスタ内の全ユーザに対して 1 つだけです。
- データベースおよびディレクトリからのデータにアクセスします。

設定

この文書は、Cisco IPMA に必要な設定プロセスを説明するものではありません。Cisco IPMA の設定は、すでに詳しく文書化されています。

設定手順については、「[Cisco IPMA の設定](#)」を参照してください。

設定手順の要点は次のとおりです。

パーティションとコーリング サーチ スペース

- 次の 3 つのパーティションをセットアップします。Managers、Cisco IPMA および Everyone
- 次の 2 つのコーリング サーチ スペース (CSS) をセットアップします。CSS-M-E (Managers、Everyone) および CSS-I-E (Cisco IPMA、Everyone)

IPMA ルート ポイントと変換パターン

- DN は、全マネージャの DN に一致するものである必要があります (たとえば 50XX)。
- パーティションは Cisco IPMA および Everyone である必要があります。
- CSS は CSS-M-E である必要があります。

マネージャの電話

- ソフトキー テンプレート = 標準の Cisco IPMA マネージャ。
- 電話ボタン テンプレート = 標準の 7960 (2 回線)。
- 回線 1、プライマリ回線。パーティション = managers、CSS = CSS-I-E。
- 回線 2、着信インターコム回線。自動応答、およびスピーカフォンまたはヘッドセットのオプション付き。パーティション = Everyone、CSS-I-E。
- 設定されている各アシスタントのインターコム回線への短縮ダイヤル。
- ユーザはグローバル ディレクトリでマネージャとして設定されていることが必要。

アシスタントの電話

- ソフトキー テンプレート = 標準の Cisco IPMA アシスタント。
- 電話ボタン テンプレート = Cisco IPMA 2 回線電話ボタン テンプレート。
- 拡張モジュール 1 = Cisco IPMA 14 ボタン テンプレート。
- 回線 1、プライマリ回線。パーティション = Everyone、CSS = CSS-I-E。
- 6 回線を備えた Cisco 14 ボタン拡張モジュール 7914 を追加。回線 2 ~ 6 は、関連付けされている各マネージャへのプロキシ回線になります。
- パーティション = Everyone、CSS = CSS-M-E。
- 拡張モジュールにある回線 7 は、インターコム回線として設定され、自動応答と、スピーカフォンまたはヘッドセットのオプション付きです。
- パーティション = Everyone、CSS = CSS-I-E。
- 設定されている各マネージャのインターコム回線に対して短縮ダイヤルが設定されます。
- 各ユーザはグローバル ディレクトリで適切なマネージャと関連付けられていることが必要です。

Active Directory および Netscape 用のディレクトリ設定

Cisco IPMA のアシスタント コンソールからのディレクトリ検索で Cisco CallManager ディレクトリだけを対象とする場合は、設定はまったく必要ありません。他のディレクトリをサポートする必要がある場合は、C:\Program Files\Cisco\MA\LDAPConfig.ini にある LDAPConfig.ini ファイルを、使用する LDAP に合わせて修正する必要があります。DC ディレクトリ用の

LDAPConfig.ini ファイルの内容を次に示します。

```
##Directory Attributes####  
  
FIRST_NAME=givenname  
MIDDLE_INITIALS=middleinitial  
LAST_NAME=sn  
COMMON_NAME=cn  
TELEPHONE_NUMBER=telephonenumber  
USERID=uid  
DEPARTMENT=departmentNumber  
  
##CONNECTION DETAILS##  
  
MAX_DIR_CONNECTION=2  
INITIAL_DIR_CONNECTION=2  
SEARCHSIZE=25  
MAX_TIME_LIMIT=0  
SEARCH_CN=false  
MANAGER_DN=cn=CCM SysUser,ou=Users,o=cisco.com  
MANAGER_PASSWORD=  
LDAP_URL=ldap://localhost:8404  
SEARCH_BASE=ou=Users,o=cisco.com
```

Cisco IPMA サービスの冗長性

IPMA サービスの冗長設計は、シンプルなアクティブ/スタンバイ冗長設計です。どの時点でも 1 台のサーバがアクティブになってサービスを提供します。もう 1 台のサーバはスタンバイモードになり、アクティブサーバに障害が発生した場合に引き継ぐために待機します。スタンバイサーバは、定期的にアクティブ状態を確認する HTTP 要求を送り、アクティブサーバの状態を監視しています。この HTTP 要求への応答がないと、アクティブサーバはダウンしていると判断され、スタンバイサーバがアクティブサーバになります。

この設計の主な特性は次のとおりです。

- ・フェールバックは行われません。バックアップサーバがいったんアクティブサーバになると、自身に障害が発生するまでバックアップサーバに戻ることはありません。
- ・あるサーバによって、両方のサーバが同時にダウンしていると判断されると、障害が発生する前にログインしていたマネージャとアシスタントは、すべてログアウトされます。

モニタスレッドには状態マシンが実装されており、定期的にピアサーバをポーリングして、現在のサーバの状態を問い合わせます。このサーバとピアサーバの現在の状態を基に、モニタスレッドは現在の状態を維持するか、状態を変更するかを判断します。

ローカルサービス/ピアサービス	INIT	ACTIVE	STANDBY	DOWN/UNKNOWN
INIT	primaryServer の場合 goActive、そうでない場合は goStandby	goStandby	doNothing (ピアを goActive にする)	goActive
ACTIV	doNothing	primaryServ	doNothing	doNothin

E	(ピアを goStandby にする)	er の場合 doNothing (ピアを goStandby にする)、 そうでない場合 goStandby	(安定した状態)	g (安定した状態)
STANDBY	goActive	doNothing (安定した状態)	primaryServer の場合 goActive 、そうでない場合 doNothing (ピアを Active にする)	doActive
DOWN / UNKN OWN	エラー (この状態には ならない)	エラー (この状態には ならない)	エラー (この状態には ならない)	エラー (この状態には ならない)

[パブリッシャおよびリダントサブスクリバに対するプライマリ Cisco IPMA サービス](#)

Cisco IPMA では、Cisco CallManager の SQL データベースに、マネージャとアシスタントに関するさまざまな情報を保存します。SQL データベースにデータを保存する目的は、クライアントセッションと Cisco IPMA サーバのフェールオーバー全体にわたって、マネージャとアシスタントのステータスを維持することです。つまり、マネージャがサイレント (DND) をオンに設定した場合、Cisco IPMA が別のサーバにフェールオーバーすると、そのサーバがマネージャをログインさせて、データベースに保存されている DND ステータスに従って DND を設定するようにします。ユーザが有効でない場合、ハントグループ内の電話機を DND に設定することはできません。ただし、ユーザがログイン、ログオフできるように、エクステンション モビリティを使用することはできます。

パブリッシャがダウンすると、Cisco IPMA では、データベースに保存されているデータを変更する要求を拒否します。つまり、パブリッシャがダウンしたとき、Cisco IPMA ではマネージャが自身の DND ステータスを変更できなくなります。

Cisco CallManager バージョン 3.3.2 を使用すると、Cisco IPMA によって次の情報がデータベースに保存されます。

- マネージャに関するもの : WatchOn、DndOn、FilterOn、DivAllOn、FilterType、および SecretKey
- アシスタントに関するもの : IsAvailable および SecretKey

このため、パブリッシャが (プライマリ Cisco IPMA サービスと一緒に) ダウンした場合、Cisco IPMA アプリケーションと Assistant Console ではフェールオーバーが発生します。ただし、このアプリケーションで IsAvailable を更新することができないため、アシスタントがオンラインになることはできません。この問題については、Cisco Bug ID CSCea33623 ([登録ユーザのみ](#)) 「IPMA アシスタントがフェールオーバーの後でオンラインになることができない」として文書化されています。

Cisco CallManager バージョン 3.3.3 を使用すると、Cisco IPMA によって Cisco CallManager の SQL データベースに保存される情報は少なくなります。

- マネージャに関するもの： WatchOn、DndOn、FilterOn、DivAllOn、および FilterType
- アシスタントに関するもの： なし。

この結果、上記の場合にもアシスタントがオンラインに復帰できます。ただし、マネージャがデータベースに保存されているステータスを更新することはできません。

サイレント (DND)

サイレント (DND) 機能を使用すると、電話機で呼び出し音を鳴らすことなくコールを転送できます。DND サービスを有効にするには、ソフトキーをサポートしている Cisco Unified IP Phone で、DND ソフトキーを使用します。DND が有効になっていると、電話機で着信コールは鳴りませんが、視覚的なアラートとコール情報が表示されます。必要であればコールに応答することもできます。

注: Cisco CallManager 4.x および 5.x では、DND は IPMA の一部となっています。Cisco CallManager 6.x では、IPMA なしで DND 機能を使用できます。Cisco CallManager 4.x および 5.x で IPMA なしで DND を使用するには、いくつかの対応策があります:

1. IPMA サービスなしで DND 機能を使用するには、ボイス メールに対して [Call Forward All] を有効にします。これにより、電話機が鳴ることなく、すべてのコールがボイス メールに転送されます。
2. 最初の対応策と同じように、ボイス メールへのスピードダイヤルを作成し、電話機でそのスピードダイヤルに DND のラベルを付けます。DND モードに切り替える必要があるときは、[CFwdAll] を押してから、**DND スピードダイヤル ボタン**を押します。
3. DND を実装するためのもう 1 つの単純な対応策は、電話機でサイレント呼び出し音を使用することです。

コールの状態

State	意味
0	unknown
1	アイドル
2	オフアー
3	承諾
4	ダイヤルトーン (Dialtone)
5	ダイヤル中 (Dialing)
6	リングバック
7	ビジー
8	接続済み
9	処理中 (Proceeding)
10	保留中 (Onhold)
11	保留待機中 (Onholdpending)
12	転送保留 (Transferonhold)
13	転送保留待機中 (Transferonholdpending)

14	Disconnected (切断)
----	---------------------

ソフトキーのイベント ID

Cisco CallManager および Manager Assistant (MA) のトレース機能では、使用されているソフトキーを示すために以下の ID を使用します。現在、Cisco CallManager のトレースで見られるソフトキー イベントは、MA のトレースで見られるソフトキー イベント ID とは異なります。ただし、MA のトレースにある ID は、ソフトキー テンプレートで設定されている ID に対応しています。この問題は、Cisco Bug ID CSCdz44718 ([登録ユーザのみ](#)) で文書化されています。

ソフトキー	コール状態	CM のトレースでのソフトキー イベント ID	CM テンプレートおよび MA のトレースでのソフトキー イベント ID
DivAll	すべての状態	786502	70
サイレント	すべての状態	786501	69
Intrcpt	すべての状態	786498	66
Trnsf VM	呼び出し中、接続済み、保留中	786500	68
Imm Div	呼び出し中、接続済み、保留中	786497	65
SetWtch	すべての状態	786499	67

トラブルシューティング

Cisco IPMA に関連する問題のトラブルシューティングを行う際には、問題の発生した箇所を判別するためのいくつかのチェックポイントがあります。次の表に、その手順と、検索すべき場所を記載します。

問題	確認内容
サービス ボタンから誤ったホストが返されるか、または何も返されない。	エンタープライズ パラメータの [Services URL] エントリを確認してください。
サービス ボタンから「No services Configured...」と返される。	電話またはユーザ プロファイルのサービスを選択しているかどうか確認してください。
短縮ダイヤルやその他のサービスを電話に設定するには、	電話またはユーザ プロファイルのサービスを選択しているかどうか確認してください。
電話に「Host not Found」	Cisco Tomcat サービスが停

と表示される。	止している可能性があります。
電話機に「Initialization in progress. Please try again later.」と表示される。	Cisco Tomcat が起動中です。このサービスが完全に起動してから Cisco IPMA にログインしてください。
ボイス メールへの転送を試行中に「That Key is not active」というエラーメッセージが表示される。	次の設定が正しく行われているかどうか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • URL およびサービスパラメータ • ソフトキー テンプレート • ボイスメール プロファイルおよび CTI ルートポイント
IPMA 設定でインターコム回線スペースに 2 つ目の回線を追加しようとする、「Error Updating device and line(s) information. Unknown Error」というエラーメッセージが表示される。	自動設定をオフにし、ユーザ設定を更新します。
Cisco CallManager クラスタ内のサーバで CTI および IPMA サービスを再起動した後、一部の IPMA アシスタントのスピードダイヤルが消失する。	この問題を解決する方法については、 IPMA でスピードダイヤルが消失する問題のトラブルシューティング を参照してください。
アシスタント コンソールに「Cisco IPMA Error A system Failure was found, please contact your system administrator」というエラーメッセージが表示されます。	IPMA アシスタントのサービスパラメータで、CTI Manager の IP アドレスが入力されていることを確認します。その上で、Cisco Tomcat サービスと CTI Manager サービスを再起動します。
IPMA コンソールがログイン時にファイルバージョンのチェックで停止する。	ファイアウォールがポート 8080 をブロックしていないことを確認します。
IPMA アシスタント コンソールで問題が発生し、ユーザ アカウントが開かず、「System error. Please contact administrator」というエラーメッセージが表示される。	Cisco Tomcat および IPMA サービスを再起動します。

[フィルタリング ダウン エラー メッセージ](#)

IPMA 設定を現在使用していない IP 電話で「Filtering down」エラーメッセージが表示され、その IP 電話でコールを発信することも受信することもできない。

このメッセージが表示される理由は、前に誤って構成された IPMA 設定が IP 電話から適切に削除されていないためです。したがって、問題の解決としては、IPMA を適切に削除して、サービスパラメータを変更します。Tomcat で IPMA サービスが停止されていることを確認します。

[「SYSTEM ERROR PLEASE CONTACT ADMINISTRATOR」エラーメッセージを受信する](#)

IPMA アプリケーションにアクセスすると、「SYSTEM ERROR PLEASE CONTACT ADMINISTRATOR」というエラーメッセージが表示される。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. マネージャとアシスタントの電話機が複数のユーザに関連付けられないことを確認します。
2. 以下のサービスを、実稼働時間外に再起動する必要があります。Cisco IP Manager AssistantCisco CTIManager注: [Cisco Unified Serviceability] > [Tools] > [Control Center - Feature Services] を選択し、[Subscriber] を選択します。上述のサービスを選択し、1 つずつ再起動します。次に、[Publisher] を選択し、上述のサービスを選択して 1 つずつ再起動します。
3. CLI から Tomcat サービスを再起動するには、utils service restart Cisco Tomcat コマンドを発行します。注: このコマンドは、サブスクライバだけに適用する必要があります。

[HTTP 503 エラーで IPMA サービスに接続できない](#)

アシスタント コンソールから IPMA サービスに接続できず、HTTP 503 エラーが表示される。HTTP 503 エラーは、Tomcat サービスに関連する Web 問題があることを意味します。

Tomcat サービスを再起動しようとする、このエラーメッセージが表示されて CTI Manager で問題が発生したことが通知されます。

Message from syslogd@FAURDEFRA01VS02 at Wed Jun 29 20:52:23 2011 ...

```
FAURDEFRA01VS02 local7 0 : 4: Jun 29 18:52:23.20 UTC :
%CCM_TOMCAT_APPS-JAVAAPPLICATIONS-0-IPMANotStarted: IPMA Application not
started Servlet Name: Cisco IP Manager Assistant Reason: Service failed to
go active. Provider is not a super provider App ID: Cisco Tomcat Cluster
ID: Node ID: FAURDEFRA01VS02
```

[解決策](#)

この問題が発生する理由は、CTIManager が IPMA サービスパラメータで設定されていないためです。この問題を解決するには、CUCM で [Cisco Unified Serviceability] > [Tools] > [Control Center - Feature Services] を選択し、Cisco CTIManager を再起動します。

[IPMA アシスタントがボイスメールにアクセスできない](#)

ユーザがボイスメールプロンプトに対し、PIN を入力してログインしようとするが、何も起こらない。ユーザがボイスメールを呼び出すと、常に IP 電話にフィルタリング画面ウィンドウが表示される。この問題は、CUCM のアップグレード後に発生します。

この問題は、アシスタント IP 電話上で実行されていない電話サービスに起因します。

[IP 電話のトラブルシューティング ツール](#)

[ブラウザ経由で要求を送信](#)

Windows のブラウザでアドレス バーに特別な URL を入力して HTTP の Get 要求を送信すると、サービスから返される正確な XML を検査できます。この URL は、通常は IP 電話サービスに定義された URL です。

注: このような要求については、デバイス名が必須のパラメータになります。

この要求の形式を示します。

```
http://172.16.240.150/ma/servlet/MAService?cmd=doPhoneService&Name=#DEVICENAME#&locale=English_United_States
```

ここで、#DEVICENAME# は SEPmac_address です。次に例を示します。

```
http://172.16.240.150/ma/servlet/MAService?cmd=doPhoneService&Name=SEP003094C44A55
&locale=English_United_States
```

[Cisco.com からのトラブルシューティングのヒント](#)

トラブルシューティングの詳細については、「[Troubleshooting Features and Services](#)」を参照してください。

[トレース ファイル](#)

[Cisco IPMA サーバのトレース ファイル](#)

Cisco IPMA サーバのトレース ファイルは、IPMA サーバ上の次の場所にあります。

- C:\Program Files\Cisco\Trace\MA\MAService*.txt
- C:\Program Files\Cisco\Tomcat\jvm.stderr および jvm.stdout

デバッグトレースを有効にするために、Cisco CallManager 上の Cisco IPMA のサービスパラメータに移動します。

[MA トレースの読み方](#)

次の例に示すように、MA トレースでは「accepted call」という文字列がコールの開始を示します。

```
306: Dec 19 07:22:17.464 EST %MA-SERVICE-7-UNK:[RoutingEndpoint:IPMARP]
NewCall() - accepted call
307: Dec 19 07:22:17.464 EST %MA-SERVICE-7-UNK:[RoutingEndpoint:IPMARP]
NewCall() - New Call on line: 72XX calledParty=7203
308: Dec 19 07:22:17.464 EST %MA-SERVICE-7-UNK:[RoutingEndpoint:IPMARP]
NewCall() - send the call to [ProxyLineManager:rfrone]
309: Dec 19 07:22:17.464 EST %MA-SERVICE-7-UNK:[ProxyLineManager:rfrone]
handleRoutePointNewCallEvent() - call=Call:[GCID=(86/1),CID=16777451]
callingParty=7201 calledParty=7203
```

```

310: Dec 19 07:22:17.464 EST %MA-SERVICE-7-UNK:[ProxyLineManager:rfrome]
    handleRoutePointNewCallEvent() - redirecting it to [ProxyLineManager:rfrome]
    at 7203
311: Dec 19 07:22:17.464 EST %MA-SERVICE-7-UNK:[ProxyLineManager:rfrome]
    execute() -com.cisco.ma.service.cti.CTICallRedirectOperation@fdadcd starting
312: Dec 19 07:22:17.526 EST %MA-SERVICE-7-UNK:CTI EVENT -- [ProxyLineManager:rfrome]
    NewCall() - line=7203 call=Call:[GCID=(86/1),CID=16777452] state=2
313: Dec 19 07:22:17.526 EST %MA-SERVICE-7-UNK:[ProxyLineAssistant:jj]
    handleNewCallManager() - callID=SEP003094C44A55:1:16777452 line=7203
314: Dec 19 07:22:17.526 EST %MA-SERVICE-7-UNK:[Connection:171.69.85.47:1188]
    sendMessage() - trying to put message into queue, messageID=26 for
    [ProxyLineAssistant:jj]
315: Dec 19 07:22:17.526 EST %MA-SERVICE-7-UNK:[EventThread:EventThread0]
    deliver() - Sent message, messageID=26 to client [ProxyLineAssistant:jj]

```

[Cisco IPMA クライアントのトレース ファイル](#)

このファイルは、インストールされた場所にあります。デフォルトでは、次の場所になります。

C:\Program Files\Cisco\IPMA Assistant Console\ACLog*.txt

アシスタント コンソールのデバッグ トレースを有効にするには、[Edit] > [Settings] > [Advanced] タブの順に選択します。

[クライアントのトレースの読み方](#)

「Going online」という文字列が、ログイン プロセスの開始を表します。

```

35199: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % Going online
35200: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % ACMain: SetAssistantAvailableStatusRequest
35201: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % sequence number: 7
35202: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % userID: jj
35203: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % available: true
35204: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % ResponseList : Adding an element
    to the response list
35205: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % Node:
35206: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % sequenceNumber: 7
35207: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % timeStamp: 1049817873827
35208: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % responseWanted: true
35209: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % responseClassExpected:
    class com.cisco.ma.service.client.protocol.SetAssistantAvailableStatusResponse
35210: Tue Apr 08 09:04:33 PDT 2003 % ServerConnect: Sending a message/request
    to MA Service
35211: Tue Apr 08 09:04:36 PDT 2003 % ServerConnect : Received a message from the
    server
35212: Tue Apr 08 09:04:36 PDT 2003 % Added the event to the queue
35213: Tue Apr 08 09:04:36 PDT 2003 % EventTherad : Received an event
35214: Tue Apr 08 09:04:36 PDT 2003 % EventThread: LoginStatusChangedEvent
35215: Tue Apr 08 09:04:36 PDT 2003 % userID : rfrome
35216: Tue Apr 08 09:04:36 PDT 2003 % loggedInState: true
35217: Tue Apr 08 09:04:36 PDT 2003 % ACManagersList: got a login status changed
    event for manager: rfrome
35218: Tue Apr 08 09:04:36 PDT 2003 % Setting logged in status for manager:
    Robert Frome to: true

```

アシスタントによってコールが受けられた時の例を次に示します。

```

35281: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % EventTherad : Received an event
35282: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % EventThread: NewCallEvent
35283: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % callId : SEP00082194D7C3:1:16793930
35284: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % lineNumber: 8200

```

```
35285: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % callingParty : 7202
35286: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % callingPartyName:
35287: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % calledParty : 8200
35288: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % calledPartyName :
35289: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % consult: false
35290: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % Received a new call: SEP00082194D7C3:1:16793930
      on Line :8200
35291: Tue Apr 08 09:05:49 PDT 2003 % ACPProxyLine: adding a new call to the proxy
      line: 8200SEP00082194D7C3
35292: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % Sending an answer request to the server for
      callID: SEP00082194D7C3:1:16793930
35293: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % ResponseList : Adding an element to the
      response list
35294: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % Node:
35295: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % sequenceNumber: 8
35296: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % timeStamp: 1049817954496
35297: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % responseWanted: true
35298: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % responseClassExpected:
      class com.cisco.ma.service.client.protocol.CallAnswerResponse
35299: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % ServerConnect: Sending a message/request to
      MA Service
35300: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % ServerConnect : Received a message from the
      server
35301: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % ServerConnect : Received a message from the
      server
35302: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % Added the event to the queue
35303: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % EventTherad : Received an event
35304: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % EventThread: CallConnectedEvent
35305: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % callId : SEP00082194D7C3:1:16793930
35306: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % lineNumber: 8200
35307: Tue Apr 08 09:05:54 PDT 2003 % Received a call connected event for call:
      SEP00082194D7C3:1:16793930
```

[関連する Cisco Bug ID](#)

設定作業に役立つ Cisco Bug ID は次のとおりです。

- CSCea33623 ([登録ユーザのみ](#)) : IPMA アシスタントがフェールオーバーの後でオンラインになることができない
- CSCdz39967 ([登録ユーザのみ](#)) : ExtMobility の IPMA マネージャがテレキャスト上に情報ウィンドウを表示できない。
- CSCea63881 ([登録ユーザのみ](#)) : CTI ルート ポイントあたり 6 回線の制限を排除。
- CSCdz44637 ([登録ユーザのみ](#)) : IPMA ディレクトリに CCMAAdministrator と CCMSysystemuser のアカウントが表示される。
- CSCdz44718 ([登録ユーザのみ](#)) : ソフトキーのイベント ID が IPMA に対して正しくない。

[関連情報](#)

- [Cisco IP Manager Assistant](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)